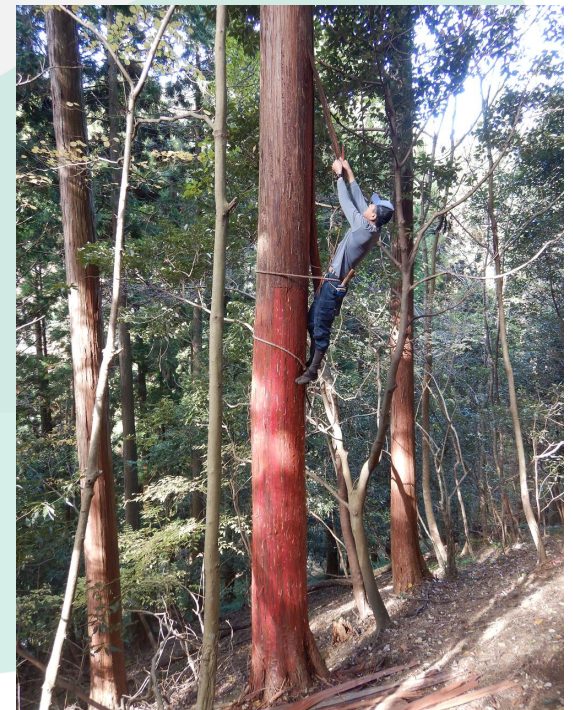




令和6年度 京都大阪森林管理事務所 重点取組事項



令和6年度 京都大阪森林管理事務所重点取組事項について

目次

- 1 公益重視の管理経営の推進等
- 2 「新しい林業」の実現に向けた取組の展開
- 3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及

1 公益重視の管理経営の推進等

平成30年に発生した台風21号は、京都市など各地の国有林で風倒木など大きな被害をもたらしました。地域毎の森林再生のための計画を策定し、地域の安全・安心を確保しつつ、観光産業を軸とした地域振興に配慮した森林再生に取り組んでいます。

治山事業による国土強靱化と森林整備事業

大規模台風被害地（貴船・鞍馬）の森林再生

森林整備事業（被害木整理・植栽）

優先度の高い地域から被害木の伐採整理を行い、その跡地には、林地保全と森林景観に配慮した広葉樹による森林再生に取り組んでいます。令和6年度も引き続き被害木整理跡地の植栽を予定しています。



風倒木被害の状況



被害木整理後の状況
(京都市 安祥寺山国有林)



森林再生に向けた広葉樹の植付 (京都市 貴船山国有林)



治山事業（山腹工）

優先度の高い地域から山腹工による斜面安定対策を進め、森林再生に取り組んでいます。令和6年度は、観光施設の上部斜面で山腹工を計画しています。

令和5年度実施箇所



叡山電鉄上部斜面
(貴船山国有林)

令和6年度予定箇所



観光施設の上部斜面
(貴船山国有林)

森林土木工事におけるデジタル技術化の推進

工事現場において、監督職員と受注者がウェアラブルカメラ等による映像と音声の双方向通信を使用して段階確認、材料検査、立会等を行うなど森林土木工事におけるデジタル技術化を推進しています。



現場

遠隔臨場での
床掘検査実施
状況



事務室

木材の安定供給の推進

公益重視の管理経営を推進しつつ、地域における木材安定供給体制の構築等を図るため、木材の持続的かつ計画的な供給に努め、地域の林業・木材産業の活性化に貢献できるよう取り組みます。

また、国有林材等の安定供給システムによる販売（システム販売）を展開し、間伐材等国有林材のさらなる安定供給に取り組みます。



醍醐山国有林（京都市、R5事業地）から出材された丸太

事業での木材利用

治山及び林道事業において、木材利用工種を優先的に適用することとし、合法性木材の利用促進を図ります。



丸太残存型枠の設置
（安祥寺山国有林）



丸太柵工の設置
（大谷国有林）

高齢級人工林等の価値向上に向けた取組

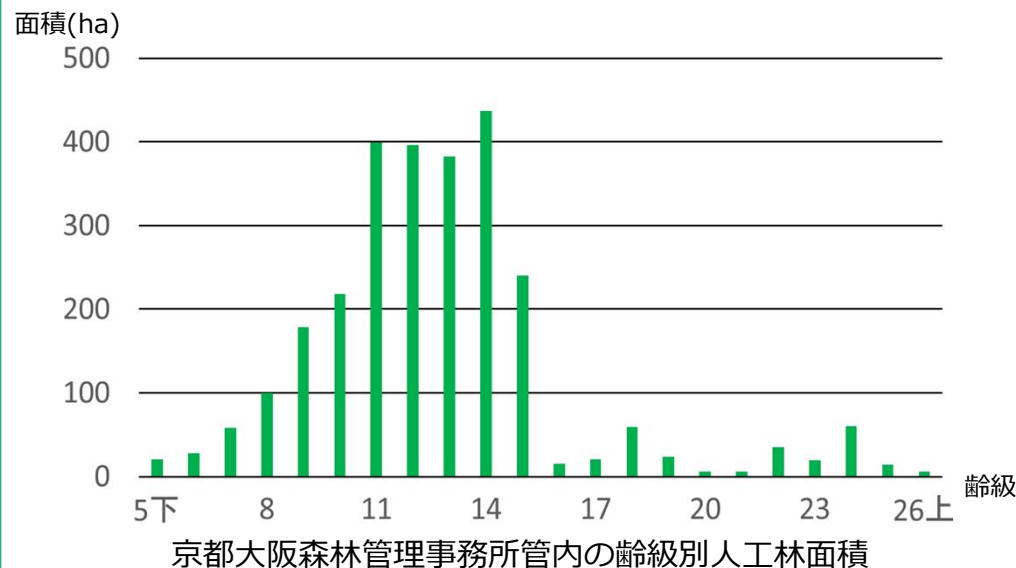
木材需要者のニーズを踏まえた採材の工夫により、原木の価値の向上に取り組めます。また、高齢級人工林について、特に太さや品質を活かし需要者から高い評価が得られるよう取り組みます。



採材の工夫・技術の向上を目的とした勉強会
（醍醐山国有林事業地）



醍醐山国有林（京都市、R5事業地）から出材された高齢級丸太



※齢級：林齢を5年単位で区分したもの。林齢1～5年生は1齢級、6～10年生は2齢級、65～70年生は14齢級に該当する。

2 「新しい林業」の実現に向けた取組の展開

森林・林業基本計画（R3.6.15閣議決定）で位置づけた、イノベーションで伐採から再造林、保育の収支をプラスへ転換させる「新しい林業」の実現に向け、生産性向上や低コスト再造林、効率的な鳥獣被害対策等に取り組むこととしています。また、その成果は民有林へも普及を図ります。

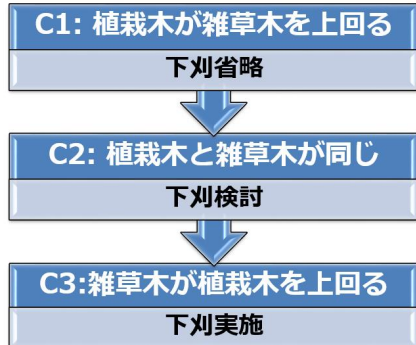
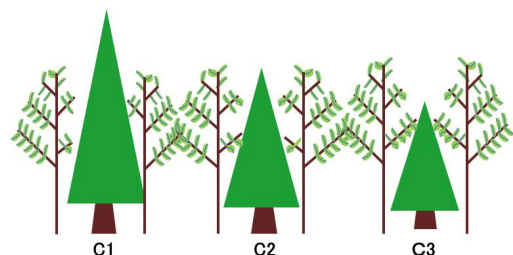
造林の低コスト化・省力化に向けた取組

下刈りの省力・削減の取組

再造林（植付）後は、低コスト化、省力化の観点から、下刈り回数の削減（下刈り省略）等に取り組めます。

具体的には、植栽後約5年間という画一的な実施ではなく、植栽木と雑草木の競合状態を見極めながら、下刈り回数の削減に取り組めます。

また、令和5年度事業に導入したコンテナ苗の大苗と普通苗の生長比較調査を通じて、下刈り省略への効果等各種検証を行うこととしています。



下刈り省略の目安（判定基準）



大苗と植付地（京都市 醍醐山国有林）

シカ防護対策

造林木へのシカによる被害（食害）が想定される箇所には、防護柵等による被害対策を講じます。

特に、防護柵の設置にあたっては、支柱に現地立木を活用することで資材コストの低減に取り組めます。

また、積雪の有無等、現地の状況に応じて単木防護を行うなど、効果的なシカ防護対策に取り組めます。



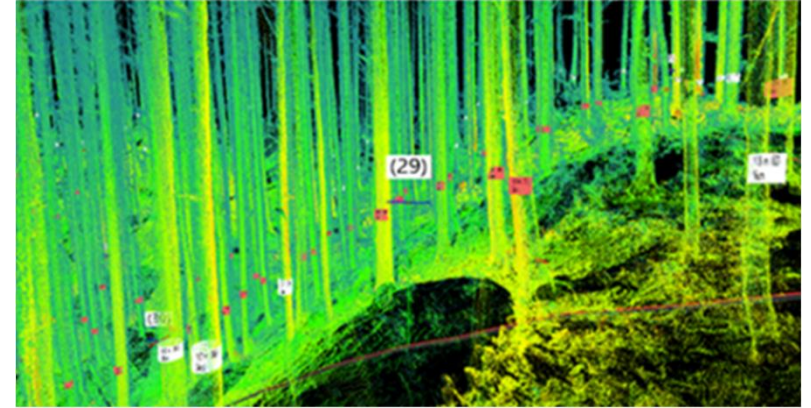
防護柵支柱に現地立木を活用
（綾部市 古屋国有林）



単木防護
（舞鶴市 大谷国有林）

収穫調査の効率化・省力化

製品生産事業等における収穫調査の効率化のため、職員の3次元地上レーザスキャナ（OWL）の操作技術の習熟を図り、収穫調査への積極的な導入・活用に取り組みます。



OWLを活用した現地調査と3次元解析画像による伐採木の選定
(箕面市 箕面国有林)

【3次元解析画像イメージ】

生産性向上の取組

請負事業者の木材（丸太）の生産作業システムを最適化し、生産性の向上とコスト縮減を支援するため、作業日報による工程管理を実施し、ボトルネックとなる工程を明らかにして、より良い作業システムとなるよう請負事業者と連携した取組を展開します。



列状間伐、効果的な作業道作設



スイングヤード（集材）



フォワーダ（運搬）



生産性向上に向けた請負事業者との
意見交換
(京都市 醍醐山国有林)

効率的なシカ捕獲の取組

シカ捕獲委託事業において、くくり罠（20個）に通報装置「ほかパト」（20子機）を設置し、シカ等が捕獲された際、委託事業者（地元猟友会）に連絡が入ることで、常時、見回りの必要がない効率的な捕獲を推進しています。

実施場所：本山寺山国有林及び楊梅山国有林全域（大阪府高槻市）



設置した「ほかパト」子機



捕獲したシカ

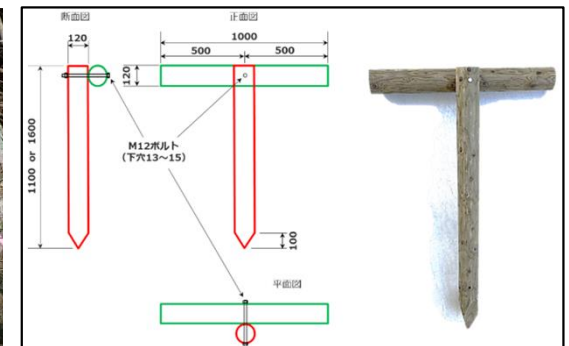
生態系を活用した防災・減災（Eco-DRR）

治山対策等による森林の機能の維持・向上は、Eco-DRRの考え方にも符合します。

安全で省力化が図られ、生態系に配慮した木材利用の促進につながる工法として、表層崩壊抑止効果を目的とした木製杭工法を考案しました。試験施工地を設定し、本工法の施工効果等について今後も検証していきます。



木杭打設の状況（京都市 安祥寺山国有林）

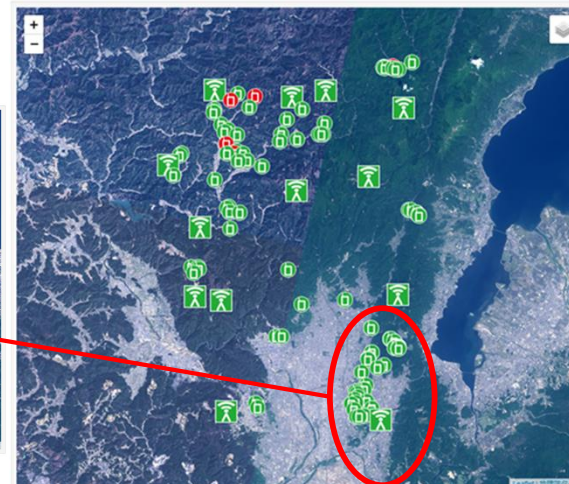
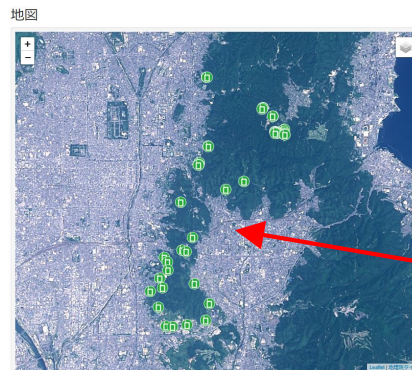


木製杭の仕様

地域との連携による捕獲の取組

京都市では有害鳥獣捕獲の効率化を図るため、LPWA（低消費電力の長距離無線）を活用し、市内全域をほぼカバーする通信網を整備しています。しかし、捕獲現場では通報装置の子機が不足していることから、京都大阪森林管理事務所では、京都市との協定に基づき通報装置の子機の設置を進めたほか、親機の追加設置により電波状況を改善するなど、各支部猟友会の捕獲活動の効率化を支援しています。

世界的な観光都市である京都の安全・安心の確保にもつながるよう、引き続き、京都市と連携して取り組みます。



子機の配置状況（京都市内全域）



親機の設置状況

3 民有林関係者等多様な主体への技術支援・普及

戦後植林された人工林が本格的な利用期を迎える中、これらの森林資源を循環利用し、林業の成長産業化と森林資源の適切な管理を両立させることが重要です。これらを民有林と国有林が協力して実現させるべく、国有林のフィールドや技術を活用して民有林関係者等多様な主体への支援に取り組みます。

多様な主体への技術支援

市町村支援に関する情報発信

市町村支援について取りまとめたパンフレット「市町村ニーズを踏まえた国有林の支援について～国有林における市町村支援メニュー～」や国有林が取り組む技術開発の成果を民有林に普及するために作成した「森林・林業技術視察プログラム」を各種会合等において紹介するなど、市町村支援に関する情報発信に努めます。

市町村支援メニューの例

- 伐採と造林の一貫作業システムで実施した森林整備地の見学
- 3次元地上レーザスキャナの活用による森林調査支援
- ドローンによる写真測量実技支援
- 林務担当職員の技術習得支援
- シカ等の鳥獣害対策支援
- 国有林職員向け研修の受講



市町村支援メニュー



未来を拓く技術の森

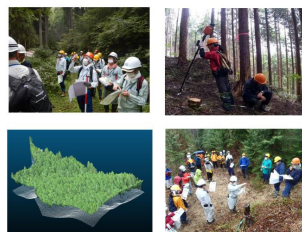
森林・林業技術視察プログラム

視察プログラムメニューの例

- コンテナ苗（一貫作業と下刈りの省力化）
- 針広混交林化（天然性広葉樹の活用）
- 早生樹センダン
- 列状間伐
- スマート林業



森林・林業技術視察プログラム



林野庁 近畿中国森林管理局
森林技術・支援センター

勉強会等を通じた民有林支援

地方公共団体が抱える地域課題やニーズを踏まえ、府及び市町村の林務担当職員を対象とした林業と国土保全を両立させる適地適業に関する勉強会を予定しています。防災・減災に資する実務的な知見の定着のため継続的に取り組んでいきます。



湿潤指標及び作業道被災原因に係る現地見学（安祥寺山国有林）

民国連携の推進

地域林政連絡会議等の各種会合を通じ、府・市町村と連絡調整を図り、民国連携の推進に取り組みます。また、森林共同施業団地内における国有林林道の活用や作業道の相互利用等により、民国連携の強化を図ります。



地域林政連絡会議



森林共同施業団地現地打合せ
（三ツ口府有林）

林業大学等への支援

各大学（京都府立大学、京都大学、近畿大学）との協定に基づき実習フィールドとして国有林を提供するほか、林業大学等による実習に対し講師として職員を派遣するなど、人材育成を支援します。

また、大学生が自ら企画・立案して行う森林体験学習において、運営など後方支援による人材育成支援にも取り組んでいます。



京都府立林業大学の現地実習
(嵐山国有林)



近畿大学の現地実習
(箕面国有林)

森林環境教育の推進

衣笠山国有林において、京都市立金閣小学校と遊々の森（きぬかけの森）協定を締結しています。京都森林インストラクター会主催の森林教室において、職員が説明役や運営補助を担うなど森林環境教育の推進に寄与しています。



職員による国有林の説明



森林インストラクターによる説明

国民参加の森づくり

嵐山国有林では、地元関係者等と連携した森林整備に取り組んでいます。京都大阪森林管理事務所が意見交換会を年2回開催し、地元関係者及び専門家の参加を通じ幅広い視点から検討を行うとともに、その検討結果に基づき、地元関係者等とともに森づくりを進めております。



嵐山国有林の取扱いに関する意見交換会



地元関係者及び専門家による現地調査

民間団体等と協定を締結し、国民参加による森づくりに取り組んでいます。京都モデルフォレスト協会との社会貢献の森（トラックの森）協定により、補植や徐伐等の森林作業体験や森の恵みを用いた工作体験等の支援を行います。



補植作業体験（銀閣寺山国有林）



工作体験（銀閣寺山国有林）

レクリエーションの森における取組

東山風景林（日本美しい森 お薦め国有林）

高台寺山国有林では、京都伝統文化の森推進協議会とレクリエーションの森協定に基づくサポーター制度を活用し、古都京都にふさわしい森づくりを目指し、同協議会による林相改善事業に取り組んでいます。

また、協議会では除伐イベントによる森林整備活動のほか、清掃活動や希少植物であるキクタニギクを復活させる活動等も行っています。



協議会専門委員による
林相改善事業予定地の調査



「将軍塚の森づくり」イベント
寺関係者による徐伐作業



明治の森箕面自然休養林管理運営協議会



箕面の山大掃除大作戦
ボランティアによる清掃活動



東山クリーン作戦
ボランティアによる清掃活動



キクタニギクの開花



間伐体験



大学生による高校生への出張講義

主要事業量内訳

区分	項目	単位	令和6年度主要事業量 (年度当初予定)
収穫	主伐	千m ³	10.1
	間伐	千m ³	8.5
販売	立木販売	千m ³	10.1
	製品販売	千m ³	2.0
造林	地拵え	ha	—
	植付	ha	3.0
	下刈り	ha	5.6
	つる切・除伐	ha	—
	保育間伐 (活用型・存置型)	ha	48.8
	保育間伐 (本数調整伐)	ha	—
林道	林道新設	m	6 6 0
	改良	m	2 0 5
治山事業	国有林直轄治山	百万円	4 3 9
	民有林直轄治山	百万円	—

①事業量（年度当初予定）には、前年度の繰越事業量を含みます。

②収穫量、立木販売量には、分収林の民収分の数量を含みます。

③林道には、林業専用道を含みます。

④治山事業費には、災害復旧事業費を含みます。

⑤単位未満の四捨五入により、計と内訳が一致しない場合があります。

【問い合わせ先】

京都大阪森林管理事務所

京都府京都市上京区西洞院通り
下長者下ル丁子風呂町102

☎ 075-414-9822

✉ kc_Kyoto@maff.go.jp